

令和7年度第13回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	令和7年12月17日（水）	午前9時30分
場	所	八王子市役所 議会棟4階	第3・第4委員会室

第13回定例会議事日程

- 1 日 時 令和7年12月17日（水）午前9時30分
 - 2 場 所 八王子市役所 議会棟4階 第3・第4委員会室
 - 3 会議に付すべき事件
 - 第1 第65号議案 八王子市教育委員会事務局の組織改正について
 - 第2 第66号議案 市立小・中学校の再編について
 - 第3 第67号議案 高尾山学園分校の設置について
 - 4 報告事項
 - ・令和8年度（2026年度）特別支援学級への就学・進学等希望者の状況等について（教育指導課）
 - ・高齢者叙勲の受章について（教職員課）
-

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
教育長職務代理者	伊 東 哲
委 員	守 屋 香 里
委 員	田 中 雅 美
委 員	橋 本 政 樹

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	松 土 和 広
学校教育部指導担当部長	上 野 和 広
学校教育部学校施設整備担当部長	八 木 忠 史
教 育 総 務 課 長	武 井 博 英
地 域 教 育 推 進 課 長	高 橋 健 司
学 校 施 設 課 長	平 井 智 也
学 校 給 食 課 長	東 郷 信 一

学 務 課 長	中 野 みどり
教 育 指 導 課 長	古 川 洋一郎
特別支援・情報教育担当課長	遠 藤 徹 也
教 職 員 課 長	櫻 田 俊 二
統 括 指 導 主 事	狩 野 貴 紀
統 括 指 導 主 事	志 村 亮 介
統 括 指 導 主 事	福 島 裕 子
生涯学習スポーツ部長	佐 藤 晴 久
生涯学習政策課長	田 島 裕 子
放課後児童支援課長	坂 野 優 一
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	吉 森 研 吾
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 課 長	吉 田 博
学 習 支 援 課 長	松 井 洋 一
文 化 財 課 長	中野目 泰 明
日本遺産推進担当課長	塩 澤 宏 幸
こども科学館長	飯 塚 由 則
図書館課長兼八王子市図書館長	堀 内 栄 史
教育指導課指導主事	上 田 隆 司
教育指導課指導主事	安 東 奈 々
教育指導課課長補佐兼主査	栗 澤 哲 也
教育総務課課長補佐兼主査	岩 崎 隆 浩
教 育 総 務 課 主 任	田 中 美 緒
教 育 総 務 課 主 事	手 塚 早 紀
教育総務課会計年度任用職員	羽 山 あゆ美

【午前9時30分開会】

○安間教育長 大変お待たせをいたしました。本日の出席は5名でありますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

これより、令和7年度第13回定例会を開会いたします。

はじめに、本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は、橋本政樹委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

本市では地球温暖化対策、省資源対策の一環として節電等に取り組んでおります。

本日の議事でございますが、会議時間の短縮のため、報告事項「高齢者叙勲の受章について」は、資料配付のみの報告といたしたいと思っております。また、第65号議案から第67号議案は未だ意思形成過程のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 御異議ないものと認めます。

それでは、議事を進行いたします。

○安間教育長 報告事項となります。

教育指導課から報告願います。

○遠藤特別支援・情報教育担当課長 令和8年度（2026年度）特別支援学級への就学・進学等希望者の状況等について、担当の栗澤課長補佐より御説明いたします。

○栗澤教育指導課課長補佐兼主査 それでは、令和8年度の特別支援学級知的障害固定制への就学・進学等の希望者の状況及び今後の対応について報告いたします。

2現状です。令和8年度の特別支援学級における学級編成については、就学相談の動向、卒業生の数、学校からの情報を見ながら年度当初より調整を重ねてまいりました。特別な支援を希望する児童・生徒のうち、就学相談において特別支援学級への就学や進学が適当とされた児童・生徒数は今年度も増加しており、新設する学級への案内にも力を入れてきましたが、保護者や児童・生徒が見学体験をする中では既存の学級を希望する声が相変わらず多いようです。そのような中で、設置校での教室の使用状況や現在の学級数にも配慮し、可能な学校については学級増を図り、

保護者や児童・生徒本人の希望に添えるよう努力をしております。

また、特別支援学級設置計画に基づき、地域の子が地域の学校に通えることを目指して、遠方の学級を希望している場合には就学相談員が丁寧に保護者に説明をし、希望校の再調整を図ってまいりました。就学進学等希望者の状況については、別紙1、2のとおりとなっておりますので、そちらを報告に代えさせていただきます。

4 中学校入学に向けた受け入れの調整を必要とする学校は、以下の2校です。現在受入れ人数を、希望している人数が超えているため調整が必要となっております。

1 校目は由木中学校です。学級数は2学級で、受入れ人数は16名となっております。学年進行による令和8年度の生徒数15名と希望者2名で合計17名になります。学級数に余裕がなく、増学級が不可能なために1名の調整が必要となっております。現在、別途参考資料「特別支援学級の優先入級順位」のうち、希望者がいづれも同じ順位の2番の条件のため抽選を行い、1名が入級となります。

2 校目は宮上中学校です。学級数は4学級で、32名の受け入れが可能となっております。学年進行による令和8年度の生徒数が28名、そこに希望者が11名おまして、現在39名の希望となっております。教室数に余裕がなく、増学級は不可能で7名の調整が必要になります。対象児童の家庭に対して、調整のための希望変更案内を通知いたしました。それにより最終的な希望者は7名となりました。このうち、別途参考資料「特別支援学級の優先入級順位」により抽選なしで入級できる児童が3名となったため、残り4名の児童の中から入級は1名となります。

5 今後の対応です。11月28日を目途に希望変更届の受付を終了いたしました。その時点で優先順位に基づき、由木中学校と宮上中学校において抽選の対象となる児童に対し、抽選実施の通知を行っております。それにより12月19日に公開の抽選会を実施いたします。落選者については、第2希望に基づき、進学先を選定してもらうこととなります。現時点で第2希望が決まっていない児童はいませんので、進学先の心配はないと考えます。就学決定通知は通常の学級同様1月末を予定しております。抽選のルールは昨年作成した優先順位により、くじ引きといたします。

6 スケジュールです。令和7年12月に抽選会を行います。抽選から漏れた児童については、第2希望の学校・学級とさせていただきます。令和8年1月末に学校の決定の通知を送付する予定となっております。

報告は以上です。

○安間教育長 只今、教育指導課からの報告は終わりました。

本件について御質疑、御意見、御要望等はありませんか。

○伊東委員 御説明ありがとうございます。令和8年度の状況はよくわかったのですが、対象となっている由木中学校と宮上中学校が今年度だけこのような現象が起きているのか、その辺りについて我々はわからないのですね。こういった提案をするときには経年の変化や過去の進学希望調査の状況などを拝見しながら、ここで出てくるやり方が妥当なのかどうかと考えていったほうが公正な手続きができるのではないかなというように考えているのですが、その辺りについてはいかがでしょう。

○安間教育長 まず、去年の状況など今わかる範囲で報告してから回答してください。

○栗澤教育指導課課長補佐兼主査 資料の足りない部分は申し訳ございませんでした。

昨年についても、宮上中学校は抽選を行っております。宮上中学校の希望者は毎年多く、これに対する対応については、教育指導課の中でもずっと検討をされておりました。由木中学校については、今までずっと単学級で運営をしてきたところなのですが、急にここで希望者が増えてきて、学校自体も教室数が足りないということで、この人口が増えているということで、今後も多くなる見込みはされています。この対応として、今年度上柚木中学校で学級の新設を行ったところですが、受入れ先として、上柚木中学校が多く受入れをしていただいている形になっており、ここで抽選に漏れた児童の受入も上柚木中学校を中心に行えることになっております。

○伊東委員 状況はわかりました。このような特別支援学級の就学・進学については、保護者の方々の要望など色々な意見もあるところですので、どのような判断でこのようなやり方をしているのか、そういった背景がわかるような資料などをいただくと、市民の方にも御理解しやすいのではないかなというようにも思いましたので、今後できればそのようにしていただければと思います。

○安間教育長 要望として受け止めてください。

ほかにございましょうか。

○守屋委員 御説明ありがとうございました。現状のところ、既存の学級を希望する声が多いとお話がありましたが、これは基本的に見学などをして保護者の方がそのように思ったりするのですか。今年度見学に行かせていただいた松が谷中学校も今

年は1名で、来年度はおそらく入ってくるとお話があったので、令和8年度は少し増えた形になっているのですが、受入体制を比較的しっかりとしていて、準備もできているのにもかかわらず活用されてないところもあるので、丁寧に保護者の方にも御説明をしていると、今御説明いただきましたが、決める段階では、そういった見学や体験のようなものがあるのかどうかをよかったら教えてください。

○栗澤教育指導課課長補佐兼主査　基本的には、地域の子は地域の学校へというところは通常の学級とも変わりませんので、特別支援学級を希望する場合には、なるべくお家から近い学校を御案内させていただいております。松が谷中学校は人数が少ないのですが、やはり地域の中に近くの特別支援学級のある小学校が少ないというところもあると思います。今年度については、松が谷小学校に知的障害の固定学級が新設されましたので、今後は増えていくのではないかと想定をしております。既存の学級の見学体験をすると、どうしてもその学級の指導の様子を見てしまうので、「あ、この学級に行きたいな」という判断をされる保護者はやはり多いようなので、新設の学級が不利になるのは、そういったところではないかと考えております。

○安間教育長　ほかにございましょうか。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長　それでは、報告として承らせていただきますが、1点だけ。もし力があって、子どもや保護者にも好感を持たれているような教員がいたら、なるべくこちらで、そのような新設をした学校に異動させるようにしてください。そこは教育指導課の中身ですから、上野部長とよく相談して、そのような仕掛けもしてください。

-----◇-----
○安間教育長　以上で公開の審議を終わりますが、委員の方から何かございましょうか。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長　それでは、毎回傍聴に来ていただいて本当ありがとうございます。大変短くて申し訳ございませんが、ここから非公開となりますので、御退出をお願いしたいと思います。いつもありがとうございます。

【午前9時41分休憩】